

なかつか 亮



第4回品川区議会定例会が始まります

年末のくらし・雇用対策、 保育園増設を急げ

—データ編—

(ハローワーク品川の資料より 今年9月)

職種(抜粋)	求人倍率(東京)
全職業計	平均(0.45)
建築・土木 技術者等	1.09
医師・薬剤師等	5.40
保健師・助産師等	3.34
一般事務員	0.15
会計事務員	0.17
営業・販売 関連事務員	0.28
飲食物調理の職業	1.05
居住施設・ビル 管理	0.34
食料品製造の職業	0.34
印刷・製本の職業	0.18
IT操作関連	0.20
IT製造関連	0.48
介護関連	1.54

求人状況
 ハローワークは、こも大勢の人だから。先日、共産党がハローワーク品川を視察すると、担当職員は「求人が3割減り、

求職は逆に3割増えた。失業給付の約半分が90日間」と説明。



年末に向け、くらし・雇用への不安が広がっています。共産党は11月26日から始まる本会議で、年末対策や認可保育園増設、「大崎」再開発の見直しを求め質問します。議会傍聴をぜひ。今回のニュースはデータでみる区民生活の実態についてです。

失業給付が切れると、直ちに生活が成り立たない事態が拡大し、そもそも給付対象から外された派遣切りも生まれています。

東京の求人倍率は平均0.45倍。職種によって大きくは差があり、一般事務は0.15人と、100人に1人前後など、軒並み仕事がない状況です。

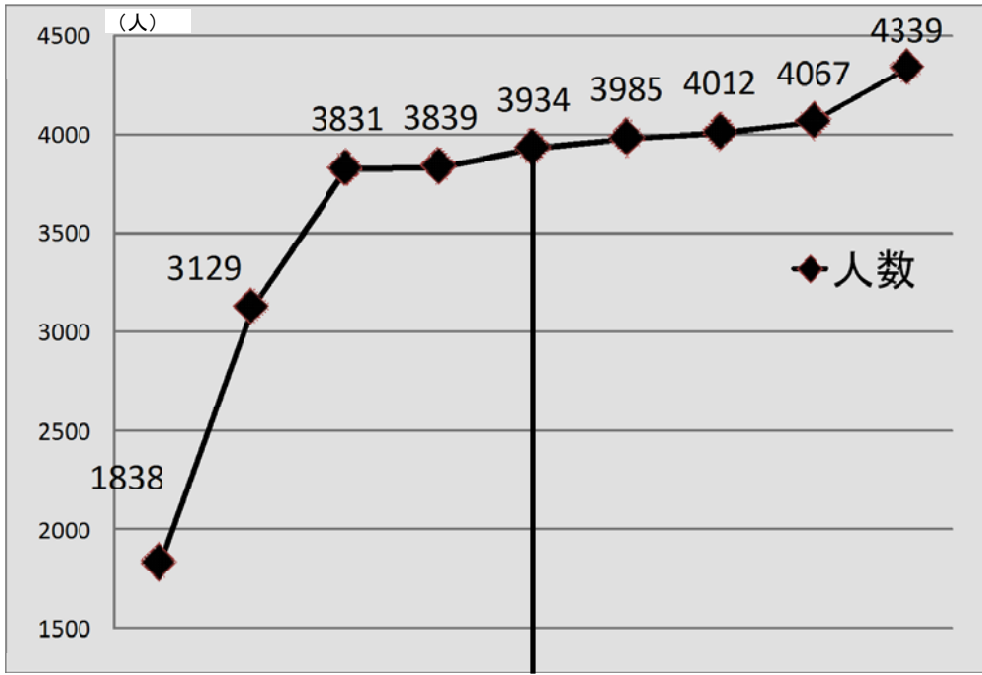
雇用破壊を背景に、生活保護も急増しています。

共産党の本会議質問
 11月26日(木)午後3時頃～ 質問者：共産党安藤泰作区議。当日は午後1時から本会議が開催されています。

週刊区政報告に対するご意見、ご要望お寄せください バックナンバーはHPに掲載

なかつか亮メールアドレス「ryo@nakatsukaryo.net」

品川区の生活保護者数の推移 (区資料より)



H4年 H12年 H18年 H19年 H20年 H21・1月 2月 3月 9月

(H4～H20は年平均数。H21以降は月始め数)

生活保護が急増

生活保護の推移をご覧ください。今年9月の区内生活保護者は4339人。この数年で一気に増加。年末に向けさらに増える傾向が見られます。

ネットカフェ難民

失業や低賃金、派遣切りなどで生活ができず、やむなくインターネットカフェで生活を余儀なくされている方も増えています。共産党は今月初め、

区内インターネットカフェ5カ所で聞きとり調査を実施。五反田駅A店では「長期で宿泊されている方は、およそ10人。一年以上の利用者も多く、年配者を中心」。大井町駅B店では「35席中、宿泊している方は20人ぐらい。50代男性が多い」という状況でした。

山手線やマック

ネットカフェ代が負担できず、山手線大崎駅や24時間マクドナルドで一夜を明かす方も生まれています。今年初めの「年越し派遣村」が繰り返される事態が心配です。実態調査、命つなぐ緊急対策が急がれます。なかつか亮

保育園入園・子育て相談会のお知らせ

「保育園に入れない」「離乳食、夜泣き、ゆびしゃぶり。聞きたいことがいっぱい」…。子育ての悩みはつきません。区議や保育士OBが相談にのります。

12月14日(月)

会場：大井第二地域センター和室

主催：日本共産党なかつか亮事務所

問い合わせ：なかつか亮区議

(区議控室 5742-6818)

相談無料。予約は要りませんが、事前にご連絡頂けると助かります。お子さんと一緒にご参加ください。なかつか亮

12月の「気軽な町の無料法律相談会」のお知らせ

12月18日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
 弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
 連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**